

---

令和5年度

本別町教育委員会の活動状況  
に関する点検・評価報告書

---

令和6年9月

本別町教育委員会

# 目 次

はじめに

<b>I 教育委員会の活動状況に関する点検・評価の概要報告</b> .....	1
1 教育委員会会議の開催状況 .....	1
2 法規・規則等の制定及び改正状況 .....	4
3 教育委員の活動状況 .....	4
(1) 教育委員会関係事業 .....	4
(2) 各学校関係各種事業 .....	5
4 各種審議会・委員会等審議概況 .....	6
(1) 本別町社会教育委員会 .....	6
(2) 本別町スポーツ推進委員会 .....	6
(3) 本別町スポーツ賞審議会 .....	8
(4) 本別町学校給食運営委員会 .....	8
5 教育費予算の状況 .....	9
<b>II 教育委員会活動実績 自己点検・評価</b> .....	11
■学識経験者からの意見・今後の方向性■ .....	13
6 主な施策の推進状況 .....	14
(1) 管理課総務担当 .....	14
(2) 管理課学校教育担当 .....	15
(3) 社会教育課社会教育担当 .....	16
(4) 社会教育課文化振興担当 .....	17
(5) 社会教育課スポーツ担当 .....	17
(6) 図書館・資料館担当 .....	18
(7) 本別町学校給食運営事業 .....	18
<b>III 主な施策の実績 自己点検・評価</b> .....	19
■学識経験者からの意見・今後の方向性■ .....	20

はじめに

すべての教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して、議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

また、点検及び評価を行うにあたり、客観性を確保する観点から、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

このことから、本別町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆さんへの説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理・執行状況について学識経験者の貴重な意見を踏まえながら、毎年度点検・評価を行っています。

今回は、第2期「本別町総合教育大綱」（令和3年度から令和7年度までの5カ年計画）をはじめ、各種の教育関係計画及び令和5年度の教育行政執行方針に掲げた施策等について、実施状況や施策の課題、今後の方向性を整理するとともに、一年間における事務事業の管理及び執行並びに活動状況等を踏まえた評価を行い、報告書を作成いたしました。

本別町教育委員会といたしましては、次年度以降についても事務の管理及び執行状況等の点検・評価を行い、施策の効果の検証と改善を絶えず図りながら、引き続き教育施策の着実な推進に努めてまいりますので、今後とも町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年9月

本別町教育委員会

※参考 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## I 教育委員会の活動状況に関する点検・評価の概要報告

本別町教育委員会教育長（令和6年3月31日現在）

職名	氏名	任期	備考
教育長	たか 高 橋 てつ や 哲 也	1期 R 3. 10.15 ~ R6.5.11	元 企画振興課長

本別町教育委員会教育委員（令和6年3月31日現在）

職名	氏名	任期	備考
教育長職務代理者	ふ せ 耕 一 布 施 耕 一	5期 R 4.10.21~R 8. 10.20	
教育委員	うし わか り え 丑 若 理 恵	3期 R 3. 1.13~R 7. 1.12	
教育委員	とお やま とも こ 遠 山 倫 子	2期 R 3.10.20~R 7.10.19	
教育委員	やま ね ひろ かず 山 根 博 和	1期 R 5.10.21~R 9.10.20	

### 1 教育委員会会議の開催状況

- ・ 定例会議 12回開催
- ・ 臨時会議 2回開催
- ・ 議案議決 40件

回数	開催日	主な付議案件等
第1回 (定1回)	令和5年 4月25日(火) 本別町体育館 研修室	議案第 1号 本別町社会教育委員の委嘱について 議案第 2号 本別・仙美里地区学校運営協議会委員の委嘱について 議案第 3号 本別町総合教育研究所所員の委嘱について 議案第 4号 本別町スポーツ推進委員の委嘱(補欠)について 報告・協議事項 (1) 令和5年度一般会計教育費4月補正予算見積りについて (2) 第58回北海道市町村教育委員会研修会の開催について (3) 教育長動静報告
第2回 (定2回)	5月22日(月) 本別町体育館 中競技室	議案第 5号 本別・仙美里地区学校運営協議会委員の追加委嘱について 議案第 6号 勇足地区学校運営協議会委員の追加委嘱について 議案第 7号 本別町スポーツ指導員の委嘱について 議案第 8号 本別町総合型地域文化・スポーツクラブ検討協議会委員の委嘱(補欠)について 議案第 9号 本別町学校給食運営委員会委員の委嘱について 議案第10号 令和5年度一般会計教育費6月補正予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 令和4年度数研式標準学力テストの結果について (2) 町内小中学校の運動会・体育祭について (3) 教育長動静報告

回数	開催日	主な付議案件等
第3回 (定3回)	令和5年 6月21日(水) 本別町体育館 研修室	議案第11号 本別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価に関する規程に基づく学識経験者の委嘱について 議案第12号 本別町特別支援教育連携会議委員及び専門委員会委員の委嘱について 議案第13号 令和5年度第12地区教科書採択地区調査委員会の委員の委嘱について 報告・協議事項 (1) 公用車両の交通事故に起因する和解及び損害賠償額を定めることについて (2) 資料館企画展及び関連事業について (3) 健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2023」の開催について (4) 本別高校を知る説明会について (5) 北海道市町村教育委員会研修会について (6) 教育長動静報告
第4回 (定4回)	7月18日(火) 本別町体育館 研修室	議案第14号 本別町立学校管理規則の一部改正について 報告・協議事項 (1) 教育長動静報告
第5回 (定5回)	8月24日(木) 本別町体育館 中競技室	議案第15号 令和4年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価に係る報告について 議案第16号 令和6年度に使用する小学校用教科用図書の採択について 議案第17号 令和6年度に使用する中学校用教科用図書の採択について 議案第18号 令和6年度に使用する教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について 議案第19号 令和5年度一般会計教育費9月補正予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 令和5年度全国学力・学習状況調査の実施結果について (2) 教育長動静報告
第6回 (臨1回)	8月29日(火) 本別町体育館 教育長室	議案第20号 本別町教育委員会の人事について
第7回 (定6回)	9月21日(木) 本別町体育館 研修室	報告・協議事項 (1) 本別町教育委員会の人事について (2) 令和5年度一般会計教育費9月補正予算見積りについて (3) 町内小中学校学習発表会・文化祭等の日程について (4) 本のまち夢づくり講演会について (5) 教育長動静報告
第8回 (定7回)	10月23日(月) 本別町体育館 研修室	議案第21号 令和5年度本別町スポーツ賞・スポーツ奨励賞の決定について 報告・協議事項 (1) 町内小中学校学習発表会・文化祭の日程について (2) 令和5年度「食べて学ぶふるさと給食」の実施について (3) 教育長動静報告

回数	開催日	主な付議案件等
第9回 (定8回)	令和5年 11月22日(水) 本別町体育館 研修室	議案第22号 令和5年度一般会計教育費12月補正予算見積りについて 議案第23号 本別町静山研修センター条例の廃止について 議案第24号 本別町静山研修センター運営規則の廃止について 議案第25号 本別町社会教育委員会運営規則の一部改正について 議案第26号 本別町教育委員会公印規則の一部改正について 議案第27号 本別町教育委員会事務局処務規程の一部改正について 議案第28号 教育財産の用途廃止について 報告・協議事項 (1) 令和5年度一般会計教育費11月補正予算見積りについて (2) 町内小中学校における冬期の学校閉庁日について (3) 教育長動静報告
第10回 (定9回)	12月20日(水) 本別町体育館 研修室	議案第29号 令和6年度一般会計教育費予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 教育長動静報告
第11回 (定10回)	令和6年 1月25日(木) 本別町体育館 研修室	議案第30号 令和5年度一般会計教育費1月補正予算見積りについて 議案第31号 本別町立学校管理規則の一部改正について 報告・協議事項 (1) 令和6年度教育行政執行方針について (2) 令和5年度一般会計教育費12月補正予算見積りについて (3) 仙美里小学校統合要望に対するこれまでの対応と今後について (4) 教育長動静報告
第12回 (定11回)	2月21日(水) 本別町体育館 研修室	議案第32号 令和6年度教育行政執行方針について 議案第33号 令和5年度本別町教育功績者表彰の受賞者の決定について 議案第34号 令和5年度本別町少年少女文化奨励賞、スポーツ奨励賞の受賞者の決定について 議案第35号 令和5年度一般会計教育費3月補正予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 令和6年度一般会計教育費予算調整結果について (2) 令和5年度一般会計教育費1月補正予算見積りについて (3) 令和5年度学校林現況等の報告について (4) 仙美里小学校の統廃合に係る地域説明会について (5) 町内小中学校卒業式について (6) 教育長動静報告

回数	開催日	主な付議案件等
第13回 (臨2回)	令和6年 3月9日(土) 本別町中央公民館 視聴覚室	議案第36号 校長・教頭人事の内申について 報告・協議事項 (1) 仙美里小学校の統廃合について
第14回 (定12回)	3月21日(木) 本別町体育館 研修室	議案第37号 本別町教育委員会の人事について 議案第38号 本別町教育指導員の委嘱について 議案第39号 本別町教育相談員の委嘱について 議案第40号 本別町立小中学校歯科医の解任について 報告・協議事項 (1) 町内小中学校入学式について (2) 教育長動静報告

## 2 法規・規則等の制定及び改正状況

(1) 教育委員会関係 条例の廃止 1件 規則の一部改正 4件  
規則の廃止 1件 規程の一部改正 1件

項目	制定及び改正状況
条例等	条例の廃止 ・本別町静山研修センター条例を廃止する条例 規則の一部改正 ・本別町立学校管理規則の一部を改正する規則 ・本別町社会教育委員会運営規則の一部を改正する規則 ・本別町教育委員会公印規則の一部を改正する規則 ・本別町立学校管理規則の一部を改正する規則 規則の廃止 ・本別町静山研修センター運営規則を廃止する規則 規程の一部改正 ・本別町教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程

## 3 教育委員の活動状況

(1) 教育委員会関係事業 (計11日・延べ34人)

月 日	事業名等	
令和5年 4月 5日	令和5年度教職員辞令伝達式	委員4人
4月25日	学校経営説明会	委員4人
7月13日	本別高校を知る説明会	委員1人
7月20・21日	北海道市町村教育委員研修会	委員3人
10月 5日	本のまち夢づくり講演会	委員2人
11月 3日	本別町スポーツ賞・スポーツ奨励賞授賞式	委員4人

月 日	事 業 名 等	
令和5年11月22日	食べて学ぶふるさと給食	委員4人
12月26日	十勝管内市町村教育委員会委員研修会	委員2人
令和6年 1月 7日	二十歳を祝う集い	委員4人
2月21日	町長と教育を語る会	委員3人
3月 9日	教育功績者表彰、少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式	委員3人

(2) 各学校関係各種事業 (計11日・延べ23人)

月 日	事 業 名 等	
令和5年 4月 7日	各小中学校入学式	委員4人
5月27日	本別中学校体育祭 勇足中学校体育祭	委員2人
6月 3日	勇足小学校運動会 仙美里小学校運動会	委員2人
6月 4日	本別中央小学校運動会	委員1人
9月30日	本別中学校文化祭	委員1人
10月22日	本別中央小学校学習発表会	委員1人
10月28日	勇足中学校文化祭	委員1人
11月11日	勇足小学校学習発表会 仙美里小学校学習発表会	委員3人
11月29日	本別町教育研究大会	委員3人
令和6年 3月15日	各中学校卒業式	委員2人
3月22日	各小学校卒業式	委員3人

#### 4 各種審議会・委員会等審議概況

審議会・委員会名	審 議 案 件 等
(1)本別町社会教育委員会	第1回 令和5年6月23日(金) ① 報告事項 ・令和5年度十勝社会教育委員協議会理事会 ・第43回北海道市町村社会教育委員長等研修会 ・第62回北海道社会教育研究大会空知大会 ② 協議事項 ・令和5年度社会教育事業計画について
	第2回 令和5年9月20日(水) ① 報告事項 ・令和5年度(第27回)十勝管内社会教育委員長等研修会 ・令和5年度(第52回)十勝管内社会教育委員研修会 ・令和5年度十勝東北部社会教育委員研修会 ② 協議事項 ・令和5年度上半期社会教育事業報告(9月末)
	第3回 令和6年3月8日(金) ① 報告事項 ・令和5年度における役員会・研修会等総括 ・静山研修センター解体による規則の一部改正について(社会教育委員に関する事) ② 協議事項 ・令和5年度社会教育課事業報告及び令和6年度新規事業について ・令和6年度北海道社会教育委員連絡協議会定期総会評議員の選出について
(2)本別町スポーツ推進委員会	第1回 令和5年5月12日(金) ①委嘱状交付 ②新年度事業計画について ③その他 ・直近事業について
	第2回 令和5年6月21日(水) ①ランニング&ウォーキングMAPについて ②健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2023」について ③視察研修について ④その他 ・仮称「子どもフェス」について ・総合型地域文化・スポーツクラブ検討協議会について ・健活プロジェクトについて ・協議会総会について

審議会・委員会名	審 議 案 件 等
	<p>第3回 令和5年7月21日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2023」について</li> <li>②ほんべつジュニア体験活動「親子登山」について</li> <li>③視察研修について</li> <li>④その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び★こどもフェス」について</li> <li>・総合型地域文化・スポーツクラブ検討協議会について</li> <li>・健活プロジェクトについて</li> <li>・ランニング&amp;ウォーキング MAP について</li> </ul> </li> </ul>
	<p>第4回 令和5年9月6日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2023」振り返り</li> <li>②ほんべつジュニア体験活動「親子登山」について</li> <li>③視察研修について</li> <li>④その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国スポーツ推進委員連合「30年勤続スポーツ推進委員表彰」受賞の決定について</li> <li>・総合型地域文化・スポーツクラブ検討協議会について</li> <li>・令和5年度十勝管内スポーツ推進委員研修会について</li> </ul> </li> </ul>
	<p>第5回 令和5年11月1日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和6年度事業について</li> <li>②総合型地域文化・スポーツクラブについて</li> <li>③第65回北海道スポーツ推進委員研究協議会の開催について</li> <li>④その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ賞・スポーツ奨励賞授賞式</li> <li>・「本別町健康タウンラジオ体操講習会」の開催について</li> <li>・「町民（町内）限定スポーツイベント」の開催について</li> <li>・十勝東北部体育振興会議について</li> </ul> </li> </ul>
	<p>第6回 令和5年12月1日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和6年度事業について</li> <li>②ほんべつジュニア体験活動「冬のレクリエーション」の開催について</li> <li>③その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「本別町健康タウンラジオ体操講習会」の開催について</li> <li>・令和5年度十勝東北部方面小中学校スピードスケート大会</li> <li>・全国スポーツ推進委員連合「30年勤続スポーツ推進委員表彰受賞」祝賀会の開催について</li> </ul> </li> </ul>

審議会・委員会名	審 議 案 件 等
	<p>第7回 令和6年1月24日(水)</p> <p>①ほんべつジュニア体験活動「冬のレクリエーション」の開催について</p> <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化・スポーツ「体験会」</li> <li>・少年団交歓大会</li> <li>・十勝東北部スポーツ交流会</li> <li>・少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式</li> </ul> <p>第8回 令和6年3月26日(火)</p> <p>①ほんべつジュニア体験活動「冬のレクリエーション」の振り返り</p> <p>②令和5年度事業の振り返り</p> <p>③令和6年度事業について</p> <p>④令和6年度「ほんべつ健康ウィーク」について</p> <p>⑤委員改選について</p> <p>⑥その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本別町総合型地域文化・スポーツクラブ検討協議会(クラブ創設に向けて)</li> </ul>
(3)本別町スポーツ賞審議会	<p>第1回 令和5年10月11日(水)</p> <p>①審議会委員長の互選</p> <p>②教育委員会からの諮問書の提出</p> <p>③令和5年度本別町スポーツ賞及びスポーツ奨励賞候補者について</p> <p style="padding-left: 2em;">候補者：スポーツ賞、1個人 スポーツ奨励賞 2個人</p> <p>④答 申：スポーツ賞、1個人 スポーツ奨励賞 2個人</p>
(4)本別町学校給食運営委員会	<p>第1回 令和5年6月28日(水)</p> <p>① 嘱状の交付(人事異動等に伴う補選)</p> <p style="padding-left: 2em;">委員5名に新規委嘱 (各小・中・高の学校長および小・中PTA代表)</p> <p>② 学校給食共同調理場の概要説明</p>

## 5 教育費予算の状況

### 10款 教育費（歳出予算）

（単位：千円）

<b>1項 教育総務費</b>	<b>131,407</b>	<b>4項 社会教育費</b>	<b>176,813</b>
1目 教育委員会費	2,639	1目 社会教育総務費	105,608
2目 事務局費	87,326	2目 公民館費	37,300
3目 教育研究所費	163	3目 図書館費	31,205
4目 諸費	41,279	4目 資料館費	2,700
<b>2項 小学校費</b>	<b>156,516</b>	<b>5項 保健体育費</b>	<b>183,736</b>
1目 学校管理費	149,524	1目 保健体育総務費	31,388
2目 教育振興費	6,992	2目 スポーツ振興費	50,102
3目 学校建設費	0	3目 学校給食費	102,246
<b>3項 中学校費</b>	<b>103,432</b>		
1目 学校管理費	93,469		
2目 教育振興費	9,963		
3目 学校建設費	0		
予 算 合 計		751,904	

#### （1）教育費の予算

令和5年度の教育費の最終予算額（人件費等含む）は751,904千円となり、一般会計予算総額7,748,107千円（前年度7,879,402千円）に占める割合は9.7%（前年度7.4%）となりました。

#### （2）予算の概要（費目ごとの主な事業内容）

##### ①教育総務費 131,407千円

- 教育委員会費 教育委員報酬、学校医報酬、他
- 事務局費 職員等人件費、事務局運営経費、他
- 教育研究所費 総合教育研究所運営経費
- 諸費 本別高校の教育を考える会補助金、学校教育振興会補助金、小学生小松島市交流研修補助金、他

##### ②小学校費 156,516千円

- 学校管理費 職員等人件費、公務補給与、特別支援教育支援員報酬、学校管理運営費、スクールバス運行委託料
- 教育振興費 英語指導業務委託料、各種教材及び図書購入費、夢と個性溢れる学校活動費補助金、就学援助費、校務用パソコン購入、他

③中学校費 103,432千円

- 学校管理費 公務補給与、特別支援教育支援員報酬、学校運営費、他
- 教育振興費 英語指導業務委託料、各種教材及び図書購入費、夢と個性あふれる学校活動費補助金、中体連・中文連参加出場費補助金、就学援助費、校務用パソコン購入、他

④社会教育費 176,813千円

- 社会教育総務費 職員等人件費、社会教育委員等報酬、各種講座及び研修等運営経費、費用弁償、ふるさと交流研修旅費、静山研修センター解体工事、PTA連合会補助金、本別義経太鼓保存会補助金、各種芸術文化大会補助金、他

- 公民館費 職員等人件費、公民館管理運営費、各種文化振興事業費、文化協会補助金、公民館活動推進費補助金、他

- 図書館費 職員等人件費、図書館管理運営費、図書館システム運用費、図書購入費、備品購入費、他

- 資料館費 歴史民俗資料館管理運営費、「7月15日本別空襲を伝える」等企画展費、他

⑤保健体育費 183,736千円

- 保健体育総務費 職員等人件費、スポーツ推進委員報酬、体育館管理運営費、備品購入、他

- スポーツ振興費 職員等人件費、各体育施設管理運営費、ジュニア体験活動事業費、各体育施設備品購入費、体育協会補助金、各種スポーツ大会補助金、スポーツイベント実行委員会補助金、他

- 学校給食費 職員等人件費、学校給食共同調理場運営費、他

### 1 教育委員会会議の効果的・効率的運用

教育委員会会議は、定例開催が12回、臨時開催が2回の計14回開催しました。教育委員会会議の開催にあたっては、教育委員会が抱える課題と現状を把握しつつ、教育委員活動の活発化と円滑な会議運営を図るため、教育委員会事務局がある町体育館で開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となりましたが感染拡大防止のため、昨年度に引き続き、授業参観を兼ねた小・中学校における移動教育委員会会議の開催は見合わせました。

一般会計教育費の予算編成時においては、教育委員の意見を積極的に反映すべく、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた協議・審議を行い、実質的な教育行政の決定機関としての機能充実に努めています。

教育行政の推進については、本町が進める生涯学習によるまちづくりの観点から、「ほんべつ学びの日」の普及啓発に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。

### 2 教育課題への対応

これまで各学校が抱える教育課題の対応については、年度当初において各学校長から学校運営・経営方針等についての説明を受けるとともに、教育委員の思いや意見などを学校運営に反映させるべき意見交換等を行っています。

また、これまで授業参観や学校行事等へも積極的に参加してきたところですが、感染症の感染拡大防止のため、学校行事への参加はしたものの、授業参観の参加は控え、学校の様子については適宜、教育委員会会議においてお伝えする形をとり、少しでも意見が学校運営に活かされるように、教育行政の推進に努めてきました。

学校においては、コロナ禍を通じて再認識された学校の役割を踏まえ、単にコロナ禍以前の姿に戻るのではなく、これまで制限されてきた学校教育活動のうち真に必要なものの回復させるとともに、GIGA スクール構想のもとで生み出されてきた多様な教育実践の工夫を取り入れることにより、新しい学びのあり方へと進化を図っていくことが重要でした。

今年度の点検・評価結果を的確に分析し、教育委員会事務局の組織体制強化を図りながら、次年度以降の教育施策に生かしていきたいと考えます。

### 3 教育委員会事務局との連携

近年の急速な少子高齢化や人口減少、グローバル化や情報化の進展に伴い、社会環境が大きく変化する中で、教育を取り巻く環境も大きく変化し、学校や地域の抱える課題も複雑・多様化している中で、未来を開拓する多様な人材を育成するために、様々な学習機会を提供し、その成果や経験が地域に還元されることが期待されています。

今後も、これからの社会情勢をしっかりと見極め、子どもたち一人ひとりが、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、幅広い視野をもって、新しい時代を切り拓くよう、第2期「本別町総合教育大綱」及び「第9期社会教育中期計画」の方針に基づいた施策を教育委員会事務局と連携を図りながら確実に実践するよう努めます。

#### 4 その他

教育委員会の活動状況や教育行政全般における施策等を9月定例会において報告するとともに、広く町民の皆さんにお知らせするため、10月の町広報紙の紙面を活用し「活動状況点検・評価報告書」を掲載します。

## ■■ 学識経験者からのご意見 ■■

教育委員会会議は、年間14回の開催で、毎月の定例開催を確保しつつ40件の議案を議決するなど、教育行政執行機関としての役割を果たすとともに、適正な運営が図られています。教育委員の活動については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため活動が制限されてきましたが、感染症法上の位置付けが5類感染症となり、学校行事や各種事業にも参加し関係機関や保護者、地域住民のニーズを把握する中で、教育委員会事務局と連携しながら適切な教育行政を執行しています。

教育行政の推進については、今後の児童生徒数の動向を踏まえ、新しい学校のあり方として、義務教育9年間を一体的に捉え、指導の一貫性や学びの系統性を重視した小・中一貫教育の義務教育学校制度の調査・研究が必要と考えます。

社会教育施設については、静山研修センターの解体工事が行われましたが、その他の施設についても老朽化が進んでおり、利用者が快適かつ安全に利用できる環境を確保するため計画的な修繕・改築を引き続き実施するとともに、冷房設備を設置し施設の利用促進を図る必要があります。

今後においても、教育委員会の活動が、広く町民の皆さんに理解されるよう情報発信に努め、教育行政の更なる充実・発展を期待します。

## ■■ 今後の方向性 ■■

人口減少や高齢化、デジタル技術による社会の激変、グローバル化や多極化などが、これまで以上の速さで進行し、予測することができない状況を迎えていますが、教育委員会では、教育委員会の重要性と教育委員の役割について認識を高めながら、教育委員会の充実と一層の活性化を図り、地域や関係機関、団体等との連携を更に密にし、社会教育の充実はもとより、子どもたちが、未来において様々な困難を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくためには、自らの良さや可能性を認識し、自己肯定感を高めていくとともに、全ての人を価値ある存在として尊重して、多様な人々と協働しながら持続可能な社会の創り手として成長し、一人ひとりがウェルビーイング（Well-being）を実感できるよう教育行政を推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症により教育活動が制限されてきましたが、ICTを活用し「いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができる」といった新たな学ぶ機会の提供が生み出され、今後はオンラインによってもたらされる便利さと対面ならではの魅力を融合するとともに、それぞれのメリットを生かしながら教育活動を推進してまいります。

義務教育学校は、義務教育期間の9年間を1つの学校として系統的な教育・継続的な生徒指導・異学年交流が特徴であり、そのメリットやデメリットを学校施設の効率的な運用も含めて調査・研究を進めてまいります。

社会教育施設の維持・管理については、今後も「本別町社会教育施設等長寿命化計画」に基づき計画的に修繕・改築等を実施し、施設環境整備の一環として冷房設備の導入に向けた取り組みを行います。

また、第2期「本別町総合教育大綱」および「第9次社会教育中期計画」に基づき、関係機関・団体等と連携を図り、学校教育・社会教育の充実に努めるとともに、「地域の子は地域で育てる」を念頭に、「ほんべつ学びの日」の普及と推進事業の充実を図っていきます。

教育委員会の活動状況や教育行政の施策等を、町広報紙を活用して「活動状況点検・評価報告書」を掲載するなどして、町民の皆さんに広く情報提供してまいります。

## 6 主な施策の推進状況

### 「ほんべつ学びの日」宣言

平成19年9月11日に宣言した「ほんべつ学びの日」は、未来を担う子どもたちの教育を家庭・学校・地域が手を携えて推進するため、「北海道教育の日」および「十勝教育の日」の趣旨を踏まえ、本町ならでの「ほんべつ学びの日」としたものです。

この学びを「光風・祈風・夢風・実風」の四つの風にたとえて、具体的な事業を展開をしています。各種事業の推進に当たっては、教育委員会、校長会、教頭会の各教育関係機関・団体等と連携しながら取り組んでおり、3年余りにわたるコロナ禍によって教育活動・学校行事・各種事業が制約され停滞していましたが、積極的に実施するとともにICTを活用するなど多様な教育実践の工夫を取り入れ、更なる進化を図ってきました。

### (1) 管理課総務担当

#### ① 教育環境の整備

近年の夏場の気温上昇から、児童・生徒の健康を守り、また学習環境を改善するため、小学校の普通教室に空調設備を設置しました。また、中学校については国の補正予算による補助金等を活用し翌年度へ繰り越しを行い、6年度中に設置を行います。

学校施設では、老朽化した本別中央小学校の校舎ボイラー室真空ヒーター更新および温度センサー移設工事を行ったほか、本別中学校の受電設備の修繕、各小・中学校の屋内消火栓等の消防設備の修繕を行いました。

#### ② 本別高等学校への支援

本別高等学校は地域連携校として、協力校である帯広柏葉高校との連携した教育活動などにより、他校の生徒と交流する機会を確保し、協働的な学びを実現しています。また、北海道高等学校遠隔授業配信センターからの遠隔授業の配信など、教育活動への支援等により教育環境の充実が図られています。

更に、本町の学びの主軸である英語教育の集大成として、高校2年生を対象としたオーストラリア・ミッチェル海外研修派遣事業を実施し、ホームステイを経験するなかでこれまで身につけてきた英語力を実践化し、英語の学びを深めるとともに多様な文化を感じ価値観を広めることができました。

その他の支援活動については、本別高等学校及び「本別高校の教育を考える会」と連携を図り、魅力ある学校づくりのための各種支援策を実施してきております。

7月には小中学生の保護者を対象とした「本高ガイダンス」を中央公民館において開催し、在校生や卒業生、保護者を交えたトークセッションを行い、小規模校ならではの魅力の発信に繋げることができました。また、令和6年度の入学生は32名となり、地元進学率も昨年度から5ポイント増の48.8%となりました。

しかしながら、少子化と多種多様な上級学校への選択の自由化が進む中で、地元高校へ進学希望する生徒が減少しており、入学生の確保が非常に厳しく難しいことを痛感しています。

本別高校生の教育環境維持と地元経済の持続的発展を図るため、本別高校の支援の在り方等については、関係機関とさらに協議する中から、その方向性についても見出し、ていかなければならないと考えております。

### ③ 徳島県小松島市児童との交流研修

友好都市小松島市立江小学校との交流研修は、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、児童の安全確保を一番に考え、これまでの訪問・受入れの交流を見直し、昨年度同様リモートによる交流を行いました。今後の交流については両学校で協議・検討を行っていきます。

## (2) 管理課学校教育担当

### ① 学校教育

学校教育では、「確かな学力」に支えられた「生きる力」を育成することが重要であり、「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の三位一体による教育の充実を図り、学校や家庭、地域の協力を得ながら、子どもたちが生きていく上で必要な「生きる力」が身につくよう、取り組んできました。

「確かな学力」の育成では、学力向上を図る学校改善プランの見直しなど、各学校の実情に応じた取組みを進めているほか、「本別町学力向上支援委員会」が各学校で取り組む具体策を検証し支援しています。

学びの軸に位置付けしている「英語教育」は、町英語教諭を引き続き任用し、小学校5・6年生の英語授業で、TTのサブ・ティーチャーとして活用するとともに、小学校1・2年生の希望者に対し外国人講師と連携し、「放課後英語教室」を実施しているほか、高校生を対象に英語検定取得に向けた検定試験対策支援として放課後に「講習会」を継続して実施しています。

小学校3・4年生および中学校全学年には、英語指導助手（ALT）2名を引き続き派遣し、英語に慣れ親しみながら実践的コミュニケーション能力育成の学習サポートに努めました。

地域全体で子どもたちの学びを育む取り組みとして、勇足地区、本別・仙美里地区に導入したコミュニティ・スクールによる学校と保護者・地域住民との連携については、各地区3回ずつ会議を実施し、各学校の学校経営方針の説明・承認、各学校の取り組みの事例紹介などを行い、学校としての考えが地域に周知されるよう取り進め、また、会議のほか専門部会に分かれての部会活動を2～3回ずつ行い、子どもたちを取り巻く課題や教育・学校に関する課題について熟議を行い、課題解決に向けた取り組みとして小中学生に対して電子メディアの使用に関する調査アンケートの実施、特別支援教育の周知リーフレットの作成・配布を行うなど、会議の運営に努めました。

### ② 特別支援教育

特別支援教育では、特別支援学級を設置する全ての小中学校に、特別支援教育支援員を配置し、個別支援の充実にも努めるとともに、一人ひとりの子どもたちの教育的ニーズに応じた指導や支援を行っていくため、関係部局と各学校とも連携を図り、個別の教育支援計画を活用し、発達段階に応じた支援を行っております。

### ③ 児童・生徒指導及び健康・安全指導

児童生徒の相談体制については、教育相談員や中学校にスクールカウンセラーを配置し、年2回のいじめアンケート調査を行うとともに、教育次長による学校訪問や悩み相談電話（24時間受付）などにより、早期発見、早期対応に努めています。

指導にあたっては、「子どもを育む環境づくり推進会議」および「生活指導連絡協議会」などの組織を活用し、生徒指導上の問題解決や具体的な方策の検討協議も行ってい

ます。5月の連休明けと夏休み明けには、子どもを育む環境づくり推進会議の構成メンバーで「みんなで“おはよう”あいさつ運動」を展開し、あいさつと登校時における交通安全指導を行っております。

### (3) 社会教育課社会教育担当

社会教育では、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底した中で事業の見直しや改善等について協議を行い事業開催に努めました。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症も5類に移行されたことにより、コロナ禍で中止とされてきた各種事業が徐々に再開し本来の社会教育活動になるように取り組んできました。

#### ① 学び★こどもフェス

長期間のコロナ禍や核家族化により、人間関係の希薄化が進んでいる現状を踏まえ家族以外の大人とのふれあいの場を提供し、子どもから大人までが、共に活動することで、相互に影響しあえる学びの機会を設けることを目的として、令和5年度から新事業となる「学び★こどもフェス」を開催いたしました。

#### ② 本別・南三陸ふるさと交流研修会（ジュニアリーダー養成事業）

第39年次となったふるさと交流研修会は、夏の訪問については、コロナ禍の影響により、4年ぶりに宮城県南三陸町との交流を開催することができました。冬の受入については、本町の研修生が16名と多数参加し、北海道十勝の自然を感じながら、レクリエーションや体験活動を通して学び、本町の子どもたちと南三陸町の子どもたちが交流を行っております。

#### ③ 本別町静山研修センター解体工事

令和3年度に静山研修センターあり方検討会を3回開催した結果、廃館取り壊しが妥当との判断に至り、令和4年度にアスベスト含有量分析と解体設計委託を行い、令和5年度は解体工事を行っております。

#### ④ 義経教室（高齢者学級）・成人講座

高齢者に生きがいのある日常生活を送っていただくために、健康の維持・増進をはじめとした総合的な学習の場を提供する「義経教室」を、仙美里・勇足・本別の3地区で開催しており、登録者数54名の方々が各種講座を受講されています。

本年度は、健康に関する講話、カラーリング、移動講座（視察研修）など8講座を開設し、延べ158名の参加をいただきました。

#### ⑤ 本別町民文芸沖積土

多くの皆さんの寄稿と編集委員の方々の努力に支えられている沖積土は、第54号を迎え、編集委員の高齢化が進む一方で、世代交代が上手くいかない状況の中ではありますが、例年と同じページ数で発刊いたしました。

#### (4) 社会教育課文化振興担当

##### ① 芸術文化活動

多くの町民の皆さんに芸術文化の関心を高めていただき、創造的な芸術文化活動を推進するため、本別民謡友の会主催の「浅野ひさえ ふるさとチャリティー公演」を支援し、本町出身の民謡歌手の歌声を鑑賞して頂きました。

町文化協会との協働による発表会は、2月に予定していた舞踊と民謡の祭典は中止し、同じ2月に本町で開催された十勝管内郷土芸術祭で発表を行ったほか、吹奏楽合同演奏会・音楽祭・文化祭は予定どおりに開催し日頃の活動の成果を披露する機会になりました。また絵画や写真、書道、手芸品などの公民館ロビー展（文化祭作品展示を含む）を24回開催し、町民の文化活動発表の場と芸術文化に触れる機会の充実に努めてまいりました。

「本別町文化協会ガイド」を更新し、町ホームページへの掲載や公共施設にポスターを掲示するなどしたほか、舞台活動の活性化を図るため「中央公民館文化活動推進事業」を8回開催し、町民の文化活動への関心を高める取り組みを継続しております。

公民館講座は、成人を対象とした「きらめき講座」「太極拳講座」を開催したほか、ものづくりなどの体験を通して子どもたちに豊かな感性を育むため「ジュニア体験活動」を4回開催しました。

##### ② 公民館施設の維持・管理等

本年度は、中央公民館の会議室・視聴覚室などの床長尺シート張替修繕を行いました。今後も「本別町社会教育施設等長寿命化計画」（令和3年～令和12年）に基づき「事後保全」から「予防保全」への転換を進め計画的な修繕・改築等を実施し、施設の延命と利便性を考慮した施設整備に努めてまいります。

#### (5) 社会教育課スポーツ担当

##### ① スポーツの振興・啓発

運動、スポーツに取り組む環境も、人口に対する年間施設利用者数からコロナ過前に戻り、年間を通し各種イベントや運動事業に取り組むことが出来た年となりました。

健康ウィーク事業においては、7月の炎天下の中での開催となりましたが、ラジオにて生放送された夏期巡回ラジオ体操では、早朝にもかかわらず300人の参加をいただくなどこれまでの開催の中において、人口に対する参加者割合も最高を記録したところです。

令和2年度より実行委員会体制にて取り組んでいる、本別町スポーツイベント事業も、初めて開催することができ、町内外から多くの参加をいただき、参加者からも次回開催を期待する声をいただいたところです。

その他、参加賞に本別ポイントカード組合の商品券を取り入れた日常実践100日運動事業の実践（延べ86人）、障がいのある方・健常者を対象とした障がい者スポーツ推進事業（延べ517人）など、地域おこし協力隊であるスポーツ推進員の活躍もあり、毎週のように事業を展開し、運動に取り組む町民の裾野を広げることを推進してまいりました。

また、人口減少が続く中、将来を見据えたスポーツ並びに文化活動に取り組む環境を保障すべく、総合型地域文化・スポーツクラブの創設に向け、検討協議会を立ち上げ、先進地視察並びに体験会を開催し、情報収集や検証を行い、次年度に求められる組

織形態の体制について検討するうえでの取り組みを行ってまいりました。

補助団体である町体育協会とスポーツ推進委員協議会との共催による「本別町健康タウンラジオ体操講習会（スポーツ技術講習会）」には、会場の中央公民館大ホールが満員となる100人もの参加をいただき、地域で運動・スポーツに取り組む活動も行ってきたところです。

## （6）図書館・資料館

### ① 図書館事業

図書館では、児童文学者矢崎節夫氏を講師に「本のまち夢づくり講演会」を開催し、ボランティアと児童が朗読を発表したほか、各小学校で出前授業を実施しました。また、令和4年度に開設した「ちきさんギャラリー」にオリジナル絵画を追加購入し、展示替えを行いました。今後も「町民の癒しの空間」として充実を図り、「絵本作家きくちちきさんのふるさと本別」を発信していきます。

### ② 資料館事業

資料館では、企画展「7月15日本別空襲を伝える」のテーマを「根室空襲の記録」として記録の大切さを伝え、関連事業として4回目となる「7・15 忘れないプロジェクト展」を開催しました。また、企画展「まちの食品工場をさぐる」で、大工場の歴史と本町産業の関わりを紹介しました。自然の魅力を発信する新たな取り組みや、ボランティアとの協働による継続した平和教育、ふるさと学習を進めています。

## （7）学校給食運営事業

### ① 安全・安心な学校給食の提供と食育活動の推進

学校給食は、児童生徒の心と体の健全な発達のために食の重要性、食を通じた地域等の理解、児童生徒が食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け、自然の恵みや感謝の気持ちが育まれるよう、栄養教諭による食育指導を行ってきており、小学校では各小学校に訪問し全学年を対象に、中学校では勇足中学校にて講演会をおこない、この他に食育だよりの発行もしております。

毎月発行している「給食だよりの献立表」については、新メニューや行事食の紹介、食育目標のポイント、地元産野菜の紹介などを掲載し、町ホームページにも載せながら食育の推進を図っています。

11月には「食べて学ぶふるさと給食」を企画し、本町でとれた食材を使用し、地場農畜産物や地元加工食品の認識や理解を深め、食の安全・安心、食の大切さを学ぶことも目的に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各学校に保護者や生産者、教育委員会関係者等を招いての「親子ふれあい給食」を従前どおり実施しました。

平成26年4月に供用を開始した現在の学校給食共同調理場では、各小中学校のみならず、へき地保育所（勇足）、本別高等学校においても給食を提供しており、高校生の87.1%が給食を利用しております。

また、アレルギー食調理室では、小中学校で15名の児童生徒に約29種類の除去品目を中心としたアレルギー対応食を提供しています。

### Ⅲ 主な施策の実績 自己点検・評価

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためこれまで児童生徒同士のふれあいを基盤とした集団的な活動や体験的な活動等の教育活動が制限されてきましたが、感染症法上の位置付けが5類感染症となり、コロナ禍を通じて再認識された学校の役割も踏まえ、これまで制限されてきた教育活動について、その必要性を十分に検討したうえで、積極的に実施してきたところです。

学校教育の推進につきましては、全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた学校改善プランの見直しと実践、確かな学力向上を図るための授業改善、家庭学習の充実等に努めています。教育環境の整備については、夏季の熱中症対策として町内小学校にエアコンを設置し児童の健康管理に配慮しました。また、町内小中学校の校務用パソコンを更新し、情報セキュリティの維持・向上及び事務効率の改善を図りました。勇足地区及び本別・仙美里地区学校運営協議会では、学校と保護者・地域住民と連携協議しながら、授業における学習支援や学校行事支援など地域の教育力を活用しながら活発な教育活動が展開できる環境づくりに取り組みました。英語教育の充実には、幼児期から英語に親しみ、小・中・高校と連続性をもって身に着けたコミュニケーション能力や英語力は、変化の激しい今日の社会を生き抜くための礎となると考えており、引き続き英語教諭を任用し、教育課程に入っていない小学校低学年については、健康・こども課の外国人英語講師と町任用英語教諭による放課後英語教室で、切れ間ない英語教育に取り組んでまいります。

本別高校への支援は、これまで新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止をしていたオーストラリア・ミッチェルへの海外派遣事業を実施することができ、参加者からは、「英語の学びを深め多様な文化を感じ価値観を広めることができた」と本別高校の新たな魅力の1つとなりました。また、地域連携校として、協力校である帯広柏葉高校との連携した教育活動等により他校との生徒交流をする機会を確保し、協働的な学びを実現するための支援を行いました。

学校給食は、安全安心な地元産食材の使用率を向上させるとともに、アレルギー対応食も提供する等、児童生徒に関してニーズに沿った取り組みを進めています。また、食材料費の高騰による賄材料費の増額分については、学校給食費に反映させずに町から支援し保護者負担を軽減しました。

社会教育の推進は、これまでコロナ禍で中止となっていた各種事業について、本来の社会教育活動になるよう、「学び★こどもフェス」、少年リーダー育成事業、義経教室（高齢者学級）等を家庭・地域・各関係機関や団体と連携を密にして開催し教育を通じた「人づくり」や「町づくり」を視点に事業を展開しています。

芸術文化の振興については、文化祭をはじめとした各種舞台発表やロビー展の開催など、文化団体やサークル等と連携し、自主的な文化活動に対する支援と我が国の歴史と伝統から生まれ守り伝えられてきた伝統文化の継承活動に努めています。

図書館では、猛暑の影響もあり、利用人数・貸出冊数ともに減少しました。特に児童の利用が少なかったのですが、出前授業の開催や読み聞かせの再開など、読書普及に努めました。更なる児童生徒へのアプローチが課題です。

資料館では、本別空襲企画展と関連事業、産業の歴史に関わる企画展、自然史の講座や情報発信を通して、本別ならではの平和教育とふるさと学習に努めました。語りべの記録、資料情報などの整理と活用が重要です。

スポーツ振興においては、健康ウィーク事業やほんべつクロスカントリー大会、ボッチャ大会をスポーツ団体等と連携して実施し、誰もがスポーツに触れ、健康づくりに親しむ機会を多く提供する事に努めました。

## ■■ 学識経験者からのご意見 ■■

教育委員会事務局の各担当が進める重点施策については、新型コロナウイルス感染症により制限されてきた義務教育や社会教育、文化及びスポーツの振興を図るための取組について、その必要性を十分に検討しながら実施されています。

本別高校支援の取組では、オーストラリア海外派遣事業は英語や海外の文化・歴史を直に触れることができる機会を提供する素晴らしい事業なので継続して実施するとともに、本別高校の魅力の1つとして在校生だけではなく小学生や中学生に対してもPRをする必要があります。また、地域連携校の協力校である帯広柏葉高校との連携については、長期休暇中の講習会への参加など、その利点をPRし入学者の確保するための取組を推進する必要があります。

本別町スポーツイベント実行委員会による町内外向けイベントのクロスカントリー大会については参加者を増やすために更なるPRが必要であります。重ねて、町民向けイベントのポッチャ大会は、高齢者も参加でき、誰でもが参加できるイベントなので継続して開催すべきと考えます。

今後も、全ての担当部局において、町民のニーズを的確に捉え、事業の再編成等、費用対効果を十分に検証しながら各種事業を推進されるよう期待します。

## ■■ 今後の方向性 ■■

学校運営の推進につきましては、地域の人材や資源を活用するなど、学校と地域が連携・協働して子どもたちの成長を支える学校づくりを推進するため、コミュニティ・スクールの充実発展に努めます。また、発達段階に応じた能力・個性を最大限に伸ばす教育を進めるため、同一校種間の交流事業を積極的に進めるとともに、幼児教育から学びの延長にある高校教育までを連続で繋ぐ異校種間連携事業を推進していきます。

義務教育の推進につきましては、35人を超える学級を有する本別中学校につきましては、町採用の教員を配置し、少人数学級によるきめ細やかな教育を推進いたします。更に、ICT機器を活用し、個別最適な学びのより一層の充実と基礎学力の定着につなげてまいります。

英語教育については、引き続き英語指導助手や教育委員会任用の英語教諭を学校に派遣するとともに小学校低学年向けの放課後英語教室や本別高校生の海外研修派遣を継続し、小学校から高校まで一貫した英語教育の充実に努めます。

本別高校の支援活動は、本別高校の教育を考える会や本別高校学校運営協議会と連携協議し、「とかち創生学」の支援や地域連携校の強みを生かした教育活動の支援等の各種事業を継続・見直しをしながら、入学促進に向け、地元中学校はもちろんのこと、近隣中学校へのPR活動を継続して展開していきます。

本別町スポーツイベント実行委員会によるスポーツイベントは、町民の健康な体と心をつくり、あわせて地域経済の活性化を図るため継続して実施してまいります。

社会教育の推進については、「第9次社会教育中期計画」に基づき、町民一人ひとりが自主的に学びながら、ふるさと「ほんべつ」に対する愛着や関心を強める中から、豊かな心を育むとともに、生きがいのある充実した生活を営むための施策を推進します。

少子高齢化が進み、社会情勢が激しい昨今ではありますが、「本別町総合教育大綱（第2期）」を基本に、教育環境の整備充実と「家庭・学校・地域」の繋がりを更に深め、教育行政の適切な執行と推進に努めてまいります。

## ほんべつ学びの日宣言

子どもたちは今、100年を越える歴史と恵まれた自然の中で明るく元気に成長しています。

しかし、揺れ動く社会の中であって、私たちには子どもたちが将来に向かって大きな夢を抱き、自己の力を十分に発揮できる環境をつくり上げることが求められています。

そのためには、家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒になって日々学ぶことが大切です。

私たち町民一人ひとりが生涯学習の観点に立ち、子どもたちとともに学びへの関心を高め、ふれあい・豊かな心をはぐくむまちづくりを推進するため、ここに「ほんべつ学びの日」を宣言します。

- 1 みんなの力で、明るく元気な子どもをはぐくみましょう
- 1 郷土や家族を愛し、平和を祈り、命を大切にすることをはぐくみましょう
- 1 将来に夢を持ち、目標に向かってチャレンジする心をはぐくみましょう
- 1 食に感謝し、スポーツに親しんで健康な身体をつくりましょう

平成19年9月11日制定

本別町教育委員会

## 本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価に係る学識経験者の活用

### 学識経験者

経 験 歴	氏 名
元教育委員	鈴木 清 志
元教育委員会職員（元町職員）	安 藤 修 一
子ども・子育て会議会長	川 本 千 枝
本別高校PTA会長	山 西 美奈子